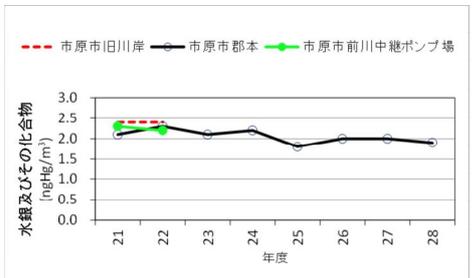
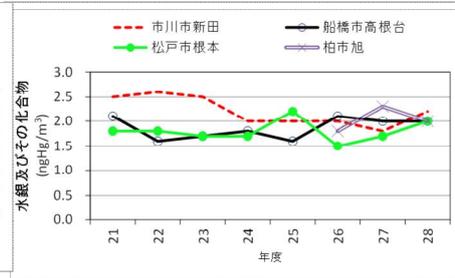
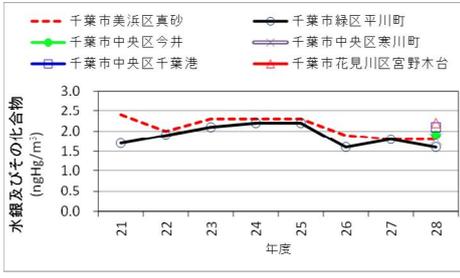
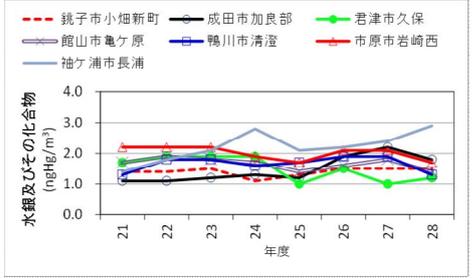
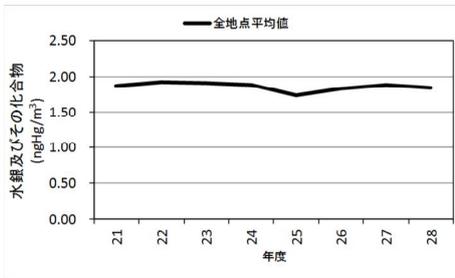
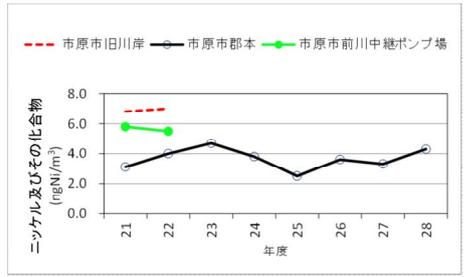
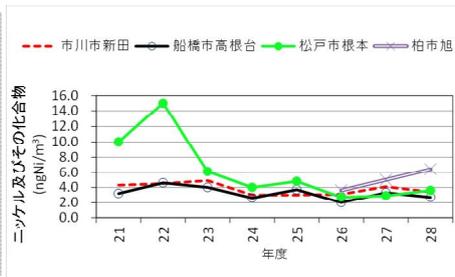
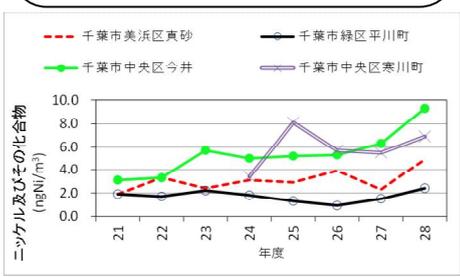
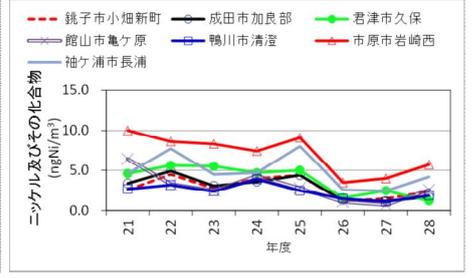
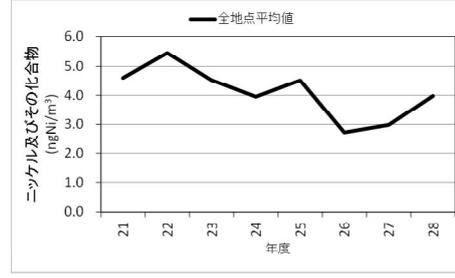


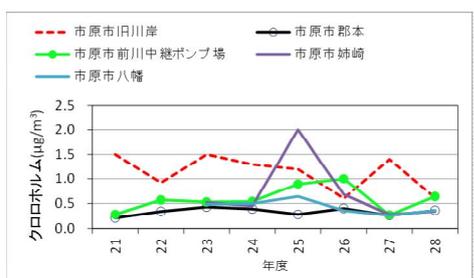
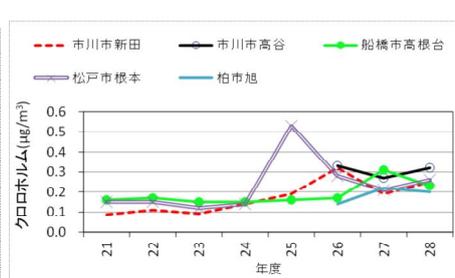
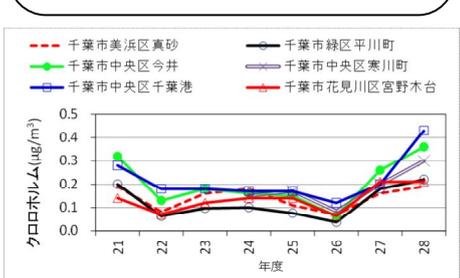
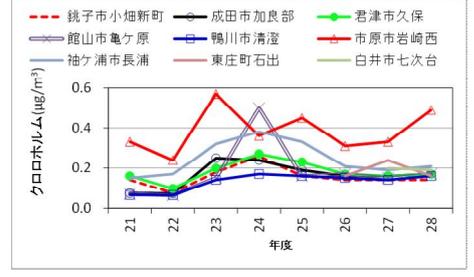
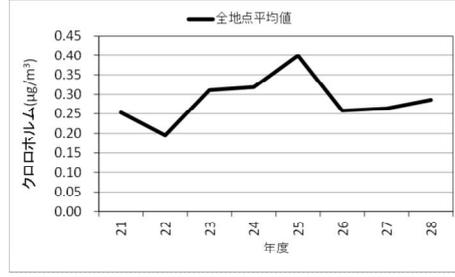
水銀及びその化合物:全地点平均
ではほとんど横ばいで推移した。
各調査地点においてもほぼ横ばい
の地点が多い。その中で袖ヶ浦
市長浦がやや上昇傾向にあった。



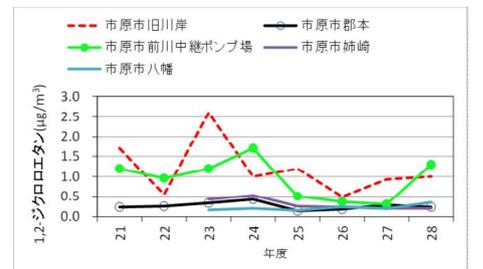
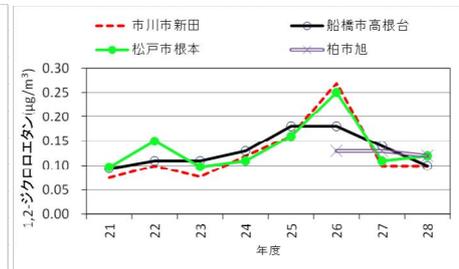
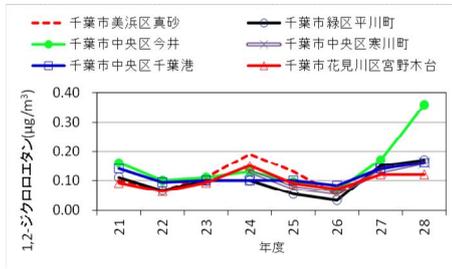
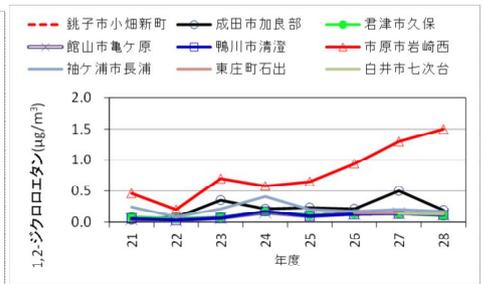
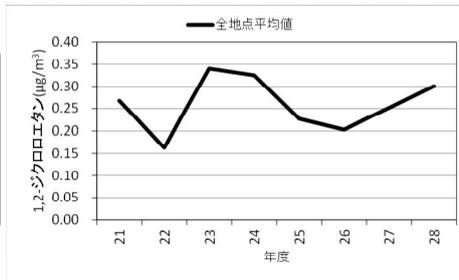
ニッケル及びその化合物:全地点
平均では平成22年度をピークに26
年度にかけて減少したが、それ以
降、上昇傾向にある。千葉市の地点
は緑区平川町は上昇傾向にある
が、他地点は横ばい、あるいは減少
傾向を示した。



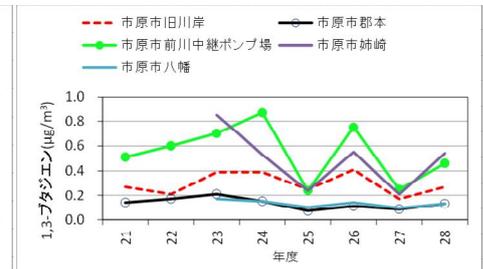
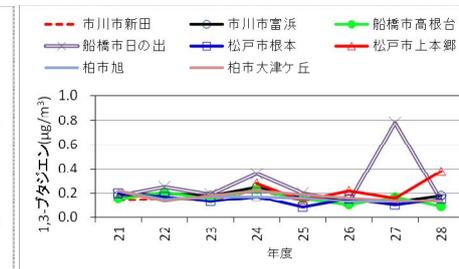
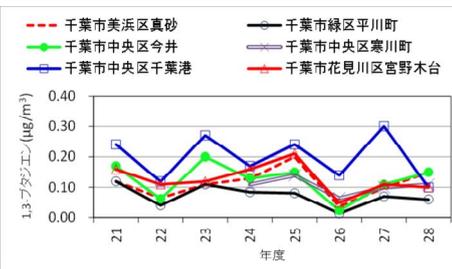
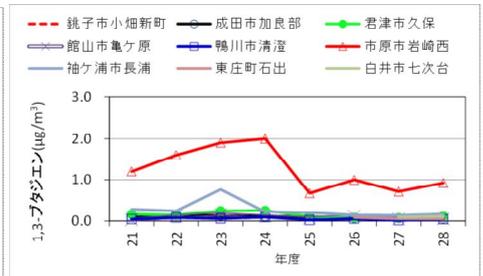
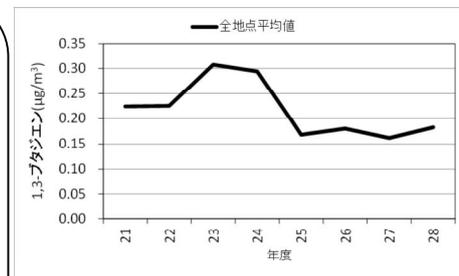
クロロホルム:全地点平均では平成
25年度にピークとなり26年度には減
少した。それ以降はほぼ横ばいであ
る。千葉、市川、船橋各市の地点及
び市原市岩崎西は上昇傾向にある。
また24年の館山市亀ヶ原、25年
度の松戸市根本、市原市姉崎など1
年のみ高濃度となる地点がある。



1,2-ジクロロエタン: 全地点平均では平成23年度をピークに26年度にかけて減少したが、それ以降はやや上昇傾向にある。千葉市の地点及び市原市岩崎西は26年以降、やや上昇傾向にある。



1,3-ブタジエン: 全地点平均は平成23年度をピークに25年度にかけて大きく減少し、それ以降は横ばい傾向にある。市原市岩崎西の濃度は他地点に比べて高く24年度までは $1.0 \mu\text{g}/\text{m}^3$ を超え、25年度に半減し、その後横ばいで推移している。袖ヶ浦市長浦、船橋市日の出、市原市前川中継ポンプ場が $0.5 \mu\text{g}/\text{m}^3$ を超える年度があった。



ヒ素及びその化合物: 全地点平均は平成21年度から24年度にかけて減少し、それ以降は上昇傾向にある。21年度は成田市加良部、市原市岩崎西、君津市久保が $2.0 \text{ngAs}/\text{m}^3$ を超えていたが、22年度以降はほぼ横ばいの傾向にあり、28年度は全地点で $1.0 \text{ngAs}/\text{m}^3$ 前後の濃度となった。

